

令和2年度 学校関係者評価報告書

NO. 中13 市川市立大洲中学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	「主体的・協働的に学習に取り組み、自ら調べ考える生徒の育成」 ～わかる授業、深い学びのある授業により、自ら調べる生徒を育てよう～	道徳教育・特別支援教育の充実を図り、豊かな心、人とのふれあい、つながりを大切にする心を育む	運動に親しむ態度を育むとともに健康で安全な生活を実践する能力を育てる	積極的な情報提供及び情報共有により家庭、地域との連携を図る
2	現状と課題	新型コロナウイルス感染症による休校措置を受け、授業時数の確保すること、限られた時間を有効に使い、誰もがわかりやすい授業の工夫に努めることが必要である。	いじめの重大事態は起きていないが、いじめの認知件数は徐々に増えている。このことは、生徒のいじめに対する認知が進んでいるとも判断できる。コロナ禍で自他を大切にする心を育むことが求められる。	生徒の運動に対する志向性が全体的に高くない中で、自分の体に関心を持ち、すすんで体を動かす生徒を増やしていくことが課題である。心や体の健康について考える機会を提供することが大切である。	学校からの情報提供はまだ十分な状況ではない。生徒の健全な育成を図るには、家庭・地域と学校が連携を密にとっていくことが大切であり、いかに学校の様子、生徒の様子を共有していくかが課題。
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要5教科の授業数を優先的に増やす時期の設定。</li> <li>・教員間の授業参観週間設定。</li> <li>・大型ディスプレイを使用した、実物投影機、視覚化した教材の活用</li> <li>・ディスプレイ上と手持ちプリントの共有化を通して理解を深める。</li> <li>・生徒が考える場面、考えを伝える（聴く）場面を授業の中に設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと」「聴くこと」「理解すること」を大事にすることを推進。</li> <li>・アンケート等を通して生徒の把握、いじめの早期発見、対応に努める。</li> <li>・日常の活動、行事的活動で自己責任を果たすことで自己有用感を持たせる。</li> <li>・道徳の授業の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動部活動の時間の確保を通して運動量を確保することにより、生徒の体力向上を図る。</li> <li>・昼の放送を通じ、外で体を動かすことの奨励、給食の栄養素の説明を行い運動面、食事面の意識向上を図る。</li> <li>・球技大会等の学年レクを通して、心のリフレッシュを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年だより、学校だより、HP、メール等を通して生徒の様子、学校の取組やお知らせを適宜周知する。</li> <li>・学校運営協議会、地域学校協働本部（みらいっこサポート）との連携により、生徒の健全育成を図る。</li> </ul>
	成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的にICT機器を活用して、分かりやすい授業、効果的な授業展開に努めたことにより、学校評価アンケートにおける「授業がわかりやすい」「授業に満足している」において肯定的評価に向上が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケート、教育相談アンケートにより生徒の把握と早期対応、確認ができた。</li> <li>・地域の方による挨拶週間の実施を機に生徒の挨拶に向上が見られた。ボランティア活動は来年度の課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での活動制限により、保健体育の授業、運動部活動等は、例年以上に充実させることが難しかった。</li> <li>・昼の放送では、生徒の活動として、運動の奨励、食や健康に関する情報提供を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートにおける「信頼される学校」に関する項目や「大洲中に入学させて良かった」において、前年度を上回る割合の方から肯定的な回答を得ることができた。</li> </ul>
4	達成状況 5:十分達成できた 1:全くできなかった	5 ● 4 ● 3 ● 2 ● 1	5 ● 4 ● 3 ● 2 ● 1	5 ● 4 ● 3 ● 2 ● 1	5 ● 4 ● 3 ● 2 ● 1
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型ディスプレイ等ICTを活用して視覚化した授業は効果的であると感じた。</li> <li>・一方的に話す授業ではなく、生徒に考えさせる機会が作られている。</li> <li>・具体的な方策により成果は出ているが、生徒の主体的な学習という面では、結果が今一つであったのが残念である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・率先して挨拶に努める風土が豊かな心の育成に繋がっている。</li> <li>・自己有用感を持たせることが大切である。</li> <li>・すれ違う時に生徒のほうから「こんにちは」と声をかけてくれる。</li> <li>・コロナ禍でも、挨拶運動や道徳の授業等で生徒のまっすぐな心の成長がみられた。</li> <li>・イエローリボンキャンペーンの自覚と効果が出ています。入学時含めて、年に数回実施されたいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が体を動かす、鍛える意識を高めるためのいろいろな情報を提供しているのは素晴らしい。今後具体的な活動計画の立案、実施が期待される。屋外体育館を開放することはいいかですか。</li> <li>・コロナ禍、学力維持が求められる中だが、体力づくり面の52%という数値は低く、改善が必要である。</li> <li>・部活動はなかったが、体育はしっかりやってくれた。屋外でも外で遊ぶよう呼び掛けてくれた。</li> <li>・コロナ禍、生徒のストレス発散、心にゆとりを。</li> <li>・コロナ禍で様々な制限があり、十分な対応ができなかったのはやむを得ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な方策で学校情報を発信しているので、各家庭も生徒の情報を手に取るように知ることができた。</li> <li>・学校だより、学年だより等、忙しい中で発行していただき感謝している。</li> <li>・アンケートから信頼される学校と評価できるが、一方で特色ある取組等への期待度もうかがえる点が今後の課題と感じた。</li> <li>・大洲中に入学させて良かったという回答は、学校側の努力の賜物。更なる地域との連携も必要です。</li> <li>・不登校の生徒への対応などの情報もできる範囲で共有出来たらよい。</li> </ul>
5	学校への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>*コロナ禍で、子どもたちへの対応一つ一つが難しいと思われませんが、考え抜いた方策に正否はありませんので、子どもたちのために精一杯自信をもって対応願います。</li> <li>*地域行事も中止せざるを得ない状況です。来年度回復したら、ぜひ協力をお願いします。</li> <li>*生徒たちと直接会話できる機会を設けていただければと思います。</li> </ul>			
6	市教委への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>*全クラスに導入されたICT機器に感動しました。今後も時代に合わせて必要な機器を導入していただければありがたい。</li> <li>*新型コロナウイルス感染の収束がみえない中、先生たちの過酷な勤務が続きます。クラス上限人数の引き下げやタブレット端末等の機器の配備、先生方の待遇の改善、地域の人の活用も検討してください。</li> <li>*地域において、ボランティアで活動する生徒及び教師に対する評価ができる仕組みを考えてほしい。</li> <li>*コミュニティスクールを全校にという構想は、長い年月をかけて一步一步進むしかないと思います。学校も地域も苦しんでいます。ぜひご指導を。</li> </ul>			